

概況

令和6年度 8月末までの事故の傾向についてお知らせします

★工事関係者事故（死亡0件、傷害10件）

- ・ 転落・墜落（4件）、挟まれ・巻き込まれ（3件）の割合が高くなっています。
 - ・ 休業4日以上を要する事故が既に5件発生し、昨年度1年間の件数（※）を超えています。
- （※ R5: 4件 ⇒ R6: 5件）

★公衆事故（死亡0件、傷害0件、物損11件）

- ・ 普段なら視認できる架空線の接触（4件）及び構造物の重機接触（1件）の割合が高いです。
- ・ 道路除草作業による飛石飛散事故（4件）の割合も高くなっています。

一現場・安全ひと工夫

「ちょっとした工夫」で、安全な現場環境づくりの推進をお願いします！

～ 今回は「見える化」（作業員の安全確保）の2事例を紹介します ～

① 服装確認用の「鏡」を設置



「鏡」を設置し、現場入場前に、正しい服装（保護具）の着用を自ら確認！
⇒ 「作業員の安全確保」

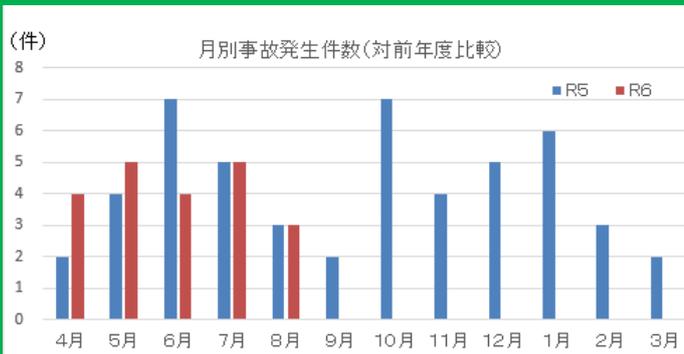
② 「斜面センサー杭」の設置



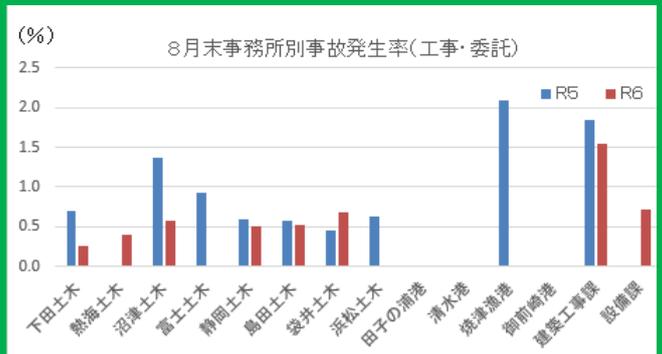
斜面の挙動を監視する「センサー杭」が、異常を検知し、斜面崩壊前にランプが点灯！ ⇒ 「作業員の安全確保」

事故関連データ

▼ 上半期工事事故件数は、前年とほぼ同じ傾向



▼ 6事務所では工事事故発生ゼロ！



下半期に工事事故件数が増加する傾向があるので要注意

※事故発生率(%) = 事故件数(件) / 工事・委託実施件数(件)

A- Press について

『A』は、ずばり安全（Anzen）のA
『A』は、アルファベットの最初の文字

工事等に当たり、安全は最も優先されます。
安全意識の向上と情報共有のために、工事等の受発注者に
毎月発信していきます。

【令和6年7月～8月の工事等事故】

- 1 建築解体工事において、屋上の作業確認の際、トップライトに足を掛け踏み抜き墜落し骨折した傷害事故
- 2 砂防工事において、交通誘導員が熱中症により転倒し、病院に搬送された傷害事故
- 3 設備工事において、可搬式仮設作業台から降りる際、段差に足を突き足首を捻って損傷した傷害事故
- 4 建築工事において、耐切傷性ではない手袋を着用し切り残し部分を取ろうとし右手甲を切創した傷害事故
- 5 作業ヤード内において、コンクリートポンプ車がアームを伸ばしたまま前進し架空線を切断した物損事故
- 6 道路維持業務において、除草作業中ネット脇から小石が飛散し通行車両の窓ガラスを割った物損事故(3件)